

3 提出書類等（様式含）新旧対比表

改訂前		改訂後(R5.1)		備考
<p>様式-1(5)</p> <p>年月日：</p> <p>特例監理技術者の配置に関する届出書</p> <p>大阪府 様</p> <p>(受注者)</p> <p>建設業法第26条第3項ただし書の規定を受ける監理技術者（以下、「特例監理技術者」という。）及び監理技術者を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）の配置について、下記のとおり届け出ます。</p>		<p>様式-1(5)</p> <p>年月日：</p> <p>特例監理技術者の配置に関する届出書</p> <p>大阪府 様</p> <p>(受注者)</p> <p>建設業法第26条第3項ただし書の規定を受ける監理技術者（以下、「特例監理技術者」という。）及び監理技術者を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）の配置について、下記のとおり届け出ます。</p>		<p>請負代金額の変更</p>
工事名称		工事名称		
当該工事現場に配置する特例監理技術者の氏名		当該工事現場に配置する特例監理技術者の氏名		
当該工事現場に専任配置する監理技術者補佐の氏名		当該工事現場に専任配置する監理技術者補佐の氏名		
特例監理技術者が兼務する工事の名称及び施工場所	<p>工事名称：</p> <p>施工場所：</p>	特例監理技術者が兼務する工事の名称及び施工場所	<p>工事名称：</p> <p>施工場所：</p>	
<p>なお、特例監理技術者の配置に関しては、入札説明書等に定める条件を遵守します。</p> <p>※ 請負代金額が、3,500万円（建築一式工事の場合は、7,000万円）以上となる工事の場合で、共通入札説明書で特例監理技術者の配置が認められている案件で特例監理技術者を配置する場合、必要事項を記入し、下記を証する資料を添えて提出してください。</p> <p>① 監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。</p> <p>② 監理技術者補佐は受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。</p> <p>③ 監理技術者補佐が担う業務等の分担を明確にすること。</p>		<p>なお、特例監理技術者の配置に関しては、入札説明書等に定める条件を遵守します。</p> <p>※ 請負代金額が、4,000万円（建築一式工事の場合は、8,000万円）以上となる工事の場合で、共通入札説明書で特例監理技術者の配置が認められている案件で特例監理技術者を配置する場合、必要事項を記入し、下記を証する資料を添えて提出してください。</p> <p>① 監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。</p> <p>② 監理技術者補佐は受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。</p> <p>③ 監理技術者補佐が担う業務等の分担を明確にすること。</p>		